

# デフレ時代を生きる

先月閉鎖が発表されたキリンビール北陸工場（白山市）、もう一つの閉鎖工場である栃木工場はどうか、町・県のホームページを調べてみた。

高根沢町町長室のページ：「突然の連絡に驚いています。少子化による市場の縮小と国際競争力の強化が要因とのことでした。本当に残念でなりません、下を向いていても何も始まりません。関係機関と相談し、町にとつての最善

の方法を見い出すべく全力で取り組んでまいります」これはマスコミに発表したコメントです。庁内での対策会議の後、福田知事と携帯電話で連絡をとり、県庁に向かいました。知事は公務で外出中でしたが、麻生副知事と今後についての協議をし、雇用、関連・取引先企業、ビール麦農家、撤退後の土地の問題等について今後の栃木県当局の協力を約束しました。

られない試練を与えませぬ。「ピンチをチャンスに！」カラ元氣と笑われるかもしれないが、町民の皆様にはご理解とご協力をお願い申し上げます。

県知事定例記者会見より：

今後、農協、商工会、地元の皆様等とも連携しなければなりません。撤退後の土地については、持ち主はキリンビールです。町の思い通りにはなりません。30年前に先祖伝来の土地を提供して下さった地元の皆様の思いと町の考え方を、最大限に尊重して下さるよう働きかけなければならぬと考えています。

## ピンチをチャンスに

まず、キリンビールの栃木工場閉鎖の問題については、高根沢町に對策本部が立ち上がりましたので、県もそこに参画するということが一つ。

それから、県庁の中においては、ビール麦の作付を農家でやっていますので農政部、それから産業労働観光部関係する部署で連絡会議を設置して、意見交換、情報交換を行う。こういう体制で、對策本部に県が入っていく

ことと、庁内において連絡会議をつくって情報収集に努めることと、両面で進めていきたいと思っております。雇用対策も含めてですね。

キリンビールの期間従業員50名も含めて、50名だけの問題ではなくて、輸送業者であるとか、あるいはビール・発泡酒のアルミ缶をつくっている会社にも影響があるらしいとか、波及するところがどの程度あるのか、県庁内で、閉鎖に伴う影響の拡大がどこまであるのか、その調査について指示を今日したところであります。ですので、これから先、町とも連携しながら、情報収集に努めながら、従業員の雇用も含めて取り組んでいきたいと思えます。地域経済に及ぼす影響は、誠に大きなものがあると、残念に思っております。：

また、会社としては、更地にするという方針だそうでございます。その後の32ヘクタールの有効利用について、企業誘致ということになりませんが、これについても町と連携しながら対応していきたいと思えます。

我が石川県、白山市のホームページでは對策等発信されています。ニュースを見ればいいのかもしれませんが、住民として県や市の「思い」を直に知りました。



### 今年の冬は暖冬

先日の急な冷え込みで炬燵（こたつ）を出した家も多いのではないのでしょうか。

新潟地方気象台の発表によれば今年の北陸地方の冬の天候は、平年に比べ曇りや雪または雨の日が少なく、平均気温は高く、降水量は少ないと予想され、昨年に続いて暖冬になる可能性が高いとのこと。

北陸地方の冬の気温は、最近10年では、平成18年が低かった以外は平年並みか高い状態が続いていて、昨年は+1.4℃（高し）。降雪量は、最近10年では多い年がなく、平均比100%を超えた年も平成13年の1度しかありません。昨年は31%（少ない）でした。

寒くなったり暖くなったりの日々です、体調管理に充分気をつけましょう。

(有)西川経営オフィスサービス  
**中村会計**  
**事務所便り**  
 2009年11月11日 (水) N075  
**地域から明るい未来を作ろう**

経済界の熾烈な競争と厳しい現実をあらためて思い知らされましたが、天は乗り越え